

2012年10月

遠山藤原学校研修

—長野県最南部の遠山郷で、藤原直哉と21世紀的ライフスタイルを学ぶ—

特集：遠山郷で未来を構想する
青崩峠訪問と峠の国盗り綱引き観戦
学習グループ：乱世を生きる勇気と戦略を学ぶ
里山ロハス体験グループ：秋の農園作業



研修日程：2012年10月27日（土）・28日（日）の2日間

研修場所：長野県飯田市南信濃地区（遠山郷）

研修主催：シンクタンク藤原事務所

旅行手配・バス運行：マツカワ観光バス株式会社

< 1、研修の内容 >

このたびは、2012年10月の遠山藤原学校研修の資料請求をしていただき、まことにありがとうございます。遠山郷は長野県の最南端、飯田市の南信濃・上村地方の山深い谷にあり、飛騨の白川郷、越後の秋山郷と並んで、日本三大秘境のひとつと言われています。

国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山郷の霜月祭、神様の湯治場の伝説がある秘境の谷に湧いた天然温泉、遠山温泉郷「かぐらの湯」、日本のチロルと言われる下栗の里、南アルプスの雄大なパノラマを望むしらびそ高原、南アルプスの恵みをたっぷり含んだ名水・観音霊水など、数多くの伝統文化や雄大な自然が残っており、人と自然の本物の共生を体験したい人には、絶対お勧めの地域です。

さらに遠山郷は人情の里でもあります。遠山郷の人たちはとても人情味溢れた人たちで、特に都会の人たちとの交流が大好きです。そのため山村にありがちな閉鎖的で暗い雰囲気ではなくて、底抜けに明るくて建設的な雰囲気を、ここを訪れるみなさんに感じていただくことができます。特にこの研修では昼と夜の懇親会に地元の有志をお招きして、共に食卓を囲み、お酒をいただき、楽しく交流していただきます。そうした心のふれあいがとても自然に、楽しく行われるのも、人情の里、遠山郷の非常に大きな魅力です。

5年前から始まった遠山藤原学校、遠山郷の休日は、毎年参加者が増えていまして、今年も4月から12月までの毎月開催です。そして今年の遠山藤原学校研修のテーマは「遠山郷で未来を構想する」です。遠山郷は一言で言えば里山に囲まれた地域です。里山というのは、人が住む里と、人が行かない深山の間にある山のことで、里に暮らす人たちの生活のために手を入れられている山のことです。里山では人と動物、自然が共生していて、本当に日本の原風景とも言えるような姿がそこにはあります。特に戦後の近代化のなかで全国各地の里山が荒廃し、自然の生態系や人との共生生活が崩れてしまった場所が多く、遠山郷も例外ではありません。既に限界集落になっている場所も多い遠山郷では、我々のように外から来た人たちも手伝って、何とか里山を復活し、遠山郷にかつての賑わいを取り戻そうという動きが本格化しつつあります。そこで今回の研修では里山の魅力をみなさんに味わっていただき、里山を中心にした日本の原風景を堪能していただき、その「懐かしい未来」の風景のなかで、21世紀を明るく元気に生きるためのさまざまな勉強をしていただきます。

そして、今年から毎回の研修を学習グループと里山ロハス体験グループの2グループに分け、観光や体験よりも、もっと勉強をしたいという方々のためのプログラムと、遠山郷の里山とロハスの体験をしたいという方のためのプログラムを用意することにしました。

具体的には1日目の午後、それぞれのグループごとに活動を行います。学習グループは「歴史に学ぶ日本の国がらと日本の立て直し」と題して藤原直哉の講演、里山ロハスグループは、遠山郷スタッフが運営している遠山藤原学校観光農園で、秋の農園作業を行っていただきます。どちらでもご自由にお選びください。

まず、1日目は12時30分に、遠山郷の中心、和田地区にあります国道152号線沿いの道の駅「遠山郷」内の、アンバマイ館という遠山郷観光協会の施設に集合していただきます。電車でお越しの方は、まずJR飯田線の平岡駅までお越しくください。東京方面からお越しの方は、東京8時33分発のひかり505号にご乗車いただき、豊橋で飯田線の特急伊那路1号に乗り換えて、平岡には11時57分に到着します。

JR飯田線の平岡駅から道の駅「遠山郷」（停留所名はかぐらの湯）までは乗り合いタクシーをご利用ください。お1人650円、所要時間約20分、特急の到着に連絡していますので、下車後、駅前広場まで階段を下ってください。そこでワンボックスタイプの乗合タクシーにお乗りください。平岡駅の予定発車時刻は12時10分です。また自家用車でお越しの方は、中央自動車道の飯田あるいは松川インターチェンジから約1時間です。

さて、集合場所の「アンバマイ館」という名前の由来ですが、「あんばまいか」というこの地方の方言からとったもので、「遊びましょう」という意味です。方言には標準語にはない温

かみがあります。また遠山郷では方言で、よく語尾に「だに」をつけます。地元の方と話をすると必ずといっていいほど聞くことができる方言です。

今回の研修ではアンバマイ館に集合してから、みなさんに自己紹介をしていただきます。それから地元の若者が経営するレストラン「食楽工房 元家 (げんや)」にて昼食をいただきます。遠山郷も若い人が本当に少なくなりましたが、このレストランはそのなかで元気な若者が活躍している注目の場所でもあります。

昼食後はまず和田地区の中心街、江戸時代から伝わる国道152号線・秋葉街道の宿場町、和田宿を歩いて通ります。秋葉街道というのは遠州の秋葉神社と信州を結ぶ街道のことで、鉄道が開通する以前は信州と遠州をつなぐ重要な人と物資の道でした。今は半ば忘れられたようにひっそりとたたずんでいます。江戸時代に整備された宿場町の面影が残り、昭和30年代、遠山郷が林業ブームで沸き立ったところに建てられた昭和時代の家も残っています。昔の魚屋さん、昔の映画館のあと、その昔、この土地が大きく栄えていたところに建てられたであろう大きな土蔵……。そして徳川家康の時代から建っていると伝えられている家などをゆっくり見学します。

それからこの地域を治めていた遠山氏の菩提寺、龍淵寺に行きます。龍淵寺は江戸時代に徳川氏に滅ぼされたこの地域の豪族、遠山氏の居城跡に建てられたお寺で、その境内に沸く観音霊水をいただきます。観音霊水は400年以上前から湧いているお水で、真夏や早魃でも枯れずにいつも冷たくておいしい水がコンコンと湧いています。そのお水を近年専門家に調べてもらったところ、カルシウムやマグネシウムの含有量が日本で最も多い、すばらしい名水であることがわかり、最近では地元や近郊の方はもちろんのこと、東京や大阪から百リットルも2百リットルもお水を汲みに来る方がおられます。こういう硬水は味にクセが強いことが多いのですが、観音霊水は硬水でありながら大変口当たりがよく、特にコーヒーや紅茶にして飲むとおいしく、また日持ちが大変良いので、非常用のお水としても汲みに来る方が絶えません。また境内には樹齢500年の観音大杉があります。これは根元が一体となった4本の杉で、家族和合のしるしとして、参詣する人が絶えません。さらに龍淵寺には2年前に再建された総けやき作りの立派な観音堂があります。このお寺では長くお写経を続けていて、奉納されたお写経がこの観音堂に納められています。光堂と名付けられた観音堂からは和田宿が一望できます。

さらに観音霊水の隣にある「殿町の茶屋」に行きます（もし売り切れ仕舞いになっていた場合は2日目の朝に訪問）。ここは地元の女性が経営しているお饅頭屋さんで、名物のふじ姫饅頭はその日の朝に作って売切れたら終わりという非常に人気の高いお饅頭です。遠隔地から来られる方はどうしても遠山郷に来るのが午後になってしまい、何度来ても売り切れで食べられないという幻の饅頭でもあります。よもぎとそばの2種類の饅頭が8個入って千円のふじ姫饅頭は、遠山郷の外はもちろんのこと、遠山郷のなかでもこの殿町の茶屋でしか販売されておらず、ファンが絶えません。さらにここではお店の方がお客さんにお茶やお漬物を接待してくださり、多くの方が地元のみなさんの暖かい人情に触れて感激していかれます。

そして遠山郷土館「和田城」を訪問します。ここは遠山郷の郷土資料館で、この地区に数百年前から伝わる国の重要無形民俗文化財、遠山の霜月祭りのビデオや複製の面（おもて）、また林業に関する展示、さらには遠山氏の子孫の方が伝えている宝物などを見学します。またこの1階の一部は喫茶店、カフェ「和田城」になっていて、目の前の観音霊水で入れた大変おいしいコーヒーをいただき、一服していただきます。

ここで里山ロハスグループはバスで、木沢地区にあります。遠山藤原学校観光農園に向かい、夕方まで秋の農園作業をお楽しみいただきます。また学習グループは講演となります。

その後、かぐらの湯でゆっくりと疲れを癒していただきます。かぐらの湯の源泉は、全国でも珍しい43度の高濃度塩化物温泉で、体がよく温まり、浴室内で温泉を飲むこともできます。この地域は日本列島を東西に走る中央構造線という大断層のために地形が非常に複雑で、地質学的にも謎が多い場所です。この温泉もそういう複雑な地質が生んだ珍しい温

泉で、豪快な雰囲気が多くファンを惹きつけています。

そしてお泊りは八重河内（やえごうち）地区にある「いろりの宿 島畑（しまばた）」です。遠山郷の郷土料理を囲みながら、地元の方々と交えての夕食、懇親会は、いつも大変和やかに、元気いっぱい盛り上がります。ご参加のみなさん同士の交流を深めると同時に、遠山郷の地元の皆さんも大変人情豊かですから、地元の皆さんとの交流も是非深めて、時間の許す限り遠山郷の料理と酒と人情を味わってください。

また夕食・懇親会后、ご希望の方は地元のカラオケスナック「セラード舞夢（まいむ）」へお連れします。実は毎回、遠山藤原学校はこの二次会の舞夢が大変盛り上がるのです。参加者の皆さんが本当にリラックスして語り合い、歌う姿はとても明るく温かい雰囲気に満たされています。どうぞ遠山郷の秋を舞夢で元気にお楽しみください。

2日目は島畑で朝食を取った後、和田地区の殿町の茶屋に行き、お土産のお饅頭を買い求めたり、お茶をいただいて朝の和田宿の雰囲気を楽しんでいただきます。

それから再びバスに乗って国道152号線を南に走り、兵越（ひょうこし）峠を通ります。この峠は標高が1165メートルあり、青崩峠があまりにももろくて車道を通せないためにう回路として整備された峠です。かつて武田信玄が徳川家康を攻める際、信州から遠州に兵を進めるときに通った峠と伝えられています。実はこの青崩峠、兵越峠は非常に険しい峠で、特に冬は雪が降ると不通になり、地元の人たちにとってはここに立派な車道がつくことは長年の悲願でした。そして現在、青崩峠の南北には青崩トンネル、青崩道路という高規格道路を建設する工事が急ピッチで進んでいて、地元としては一日も早くこのトンネルと道路が開通して、信州と遠州の行き来が楽になることを祈っているのです。そこで峠の北側の飯田市・南信濃の商工会と南側の浜松市・水窪（みさくぼ）の商工会がここで毎年一回、両者の交流を盛んにすることを目的に峠の国盗り綱引きを行っています。これは3本勝負の綱引きで、勝った側に国境が1メートル動くというもので、双方とも毎年精鋭を揃えて勝負をしています。今回はちょうど研修が綱引きの日に一致しました。綱引きは11時半から始まります。

そこで綱引きが始まる前に一度ここを通過して静岡県の水窪側に下り、改めて水窪側から青崩峠直下に向かう道を登っていきます。途中で足神神社があります。この神社は鎌倉時代に北条時頼の足の痛みを治した辰次郎という地元の人を祀った神社で、全国でも珍しい足の神様を祀る神社です。とても神気あふれる神社です。それからバスはその奥の駐車場で止まります。そこから我々はゆっくり歩いて30分弱の遊歩道を青崩峠に向けて登ります。道は昔の青崩峠そのままに立派な石畳になっていて、かつてここを人や馬が頻繁に行き来した時代の光景が彷彿とよみがえってくるようです。やがて石畳が終わってなだらかな坂を登ると、ひょっこり青崩峠につきます。ここからは信濃（しなの）と遠江（とおとうみ）の両方の国の山並みが細長く見渡せて、改めてここが太古の昔から日本に伝わる長大街道だったのだと納得します。そしてこの峠の遊歩道と峠近辺で、秋の紅葉を背景に写真撮影を行います。

名古屋の写真家、水野秀彦氏のご指導のもと、みなさんにデジカメで写真を撮っていただきます。芸術は人の気持ち、心をすがすがしく洗濯してくれます。特に美しい紅葉と一人一人向き合っって写真を撮ることで心が自然に洗われ、すがすがしい自分自身と向かい合うことができます。そこでどうぞデジカメと、撮った写真を保存するメモリーカードをお持ちください。またメモリーカードは個人情報保護のために、今までに撮影された写真を消したものをお持ちください。

その後再びバスに戻って兵越峠に行き、綱引きを観戦します。そして会場でお昼ご飯のお弁当をいただきます。

綱引き終了後はバスで木沢地区にある、木造校舎の廃校を利用した地域活性化施設、旧木沢小学校に向かいます。旧木沢小学校は平成3年に休校、平成11年に廃校となった地元の小学校で、現在に残る懐かしい木造校舎は、昭和7年に地元の人々の情熱によって建てられたものです。そのため廃校後も何とかこの木造校舎を保存し、同時にここを地域活性化の拠点とすべく、地元の有志が木沢地区活性化推進協議会という団体をつくって、木造校舎の維

持管理を行っています。校内の教室には遠山郷の霜月祭り、地元を走っていた森林鉄道である遠山森林鉄道、南アルプスの登山道整備などを行っている遠山山の会、昭和時代の遠山郷の写真などが展示されているほか、藤原直哉の蔵書3千冊を寄贈した藤原文庫もあります。さらにここには年間を通じて多くの方が見学に訪れ、また空き教室を利用した講演会や集会、演奏会、映画の撮影などがたびたび行われていて、まさに地元の方と来訪される方との貴重な交流の場にもなっています。そしてこの小学校のすぐ隣に遠山藤原学校の事務所があり、その隣には、遠山藤原学校観光農園があります。この農園は廃耕地となっていた畑をお借りして、当社で募った遠山郷ボランティアと地元のみなさんが力を合わせて4年前に開いたばかりの農園で、遠山藤原学校における木沢地区の里山整備の拠点にしようとしている農園です。まず学校をご覧くださいから、藤原直哉の講演です。今回は、内外情勢がどんどん動いていますので、「激動の今年・来年の生き方」と題してこれから具体的に日本と我々はどうしていけばよいかについて講演を行います。そして、最後に火曜日に公開するインターネットラジオのうちの1本を公開録音します。

その後、午後3時45分に旧木沢小学校にて解散。お車を道の駅「遠山郷」に駐車された方、電車でお帰りの方は道の駅「遠山郷」まで車でお送りいたします。電車で東京方面にお帰りの方は、道の駅「遠山郷」内にあるアンバマイ館の玄関前（停留所名はかぐらの湯）を16時7分に出る乗合タクシーで平岡駅まで行ってください。平岡駅には16時28分に到着します。そして平岡を16時42分に出る特急伊那路4号で豊橋に行き、豊橋からひかり530号に乗り換えて、東京には20時10分に到着します。

今回も盛りだくさんの内容ですが、縁ある数多くの方々に遠山郷の自然と人情、そしてそのなかで生きる喜びを味わっていただき、遠山郷の里山に遊び、またよく学んでいただき、遠山郷のファンとなり、21世紀を明るく元気に生きるための、たくさんの知恵と実力を得ていただきたいと思っています。一人でも多くの方のご参加を心からお待ちしております。

2012年10月吉日

シンクタンク藤原事務所
会長・経済アナリスト 藤原直哉

< 2、研修日程表 >

10月27日（土）

時間	予定	写真
12:30	集合 <u>道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館に集合</u> 研修の説明と参加者の自己紹介、スタッフ挨拶	
12:45 13:30	昼食 出発 道の駅「遠山郷」内、「元屋」にて 和田地区内を散策 和田宿、龍淵寺、殿町の茶屋、遠山郷土館、 カフェ「和田城」など	
15:00	出発 <u>里山ロハス体験グループ</u> 木沢地区に向けてバスで出発	アンバマイ館 
15:15 15:30 17:15	到着 実習 出発 旧木沢小学校到着 遠山藤原学校観光農園にて農業体験 和田地区に向けてバスで出発	遠山藤原学校観光農園 
15:00	学習 <u>学習グループ</u> 和田地区の学習施設で学習 「歴史に学ぶ日本の国がらと日本の立て直し」	
17:15	出発 1日目の学習終了。「かぐらの湯」へ	
17:30 18:30 18:40 18:45	到着 出発 到着 夕食 遠山温泉郷「かぐらの湯」で入浴 八重河内地区の「いろりの宿 島畑」へ出発 「いろりの宿 島畑」到着、チェックイン 「いろりの宿 島畑」にて夕食、懇親会	龍淵寺 
21:00	終了 二次会に行かれる方、セラード舞夢へ <u>里山ロハス体験グループでは農園作業を行いますので、運動靴、汚れてもよい作業着、軍手をお持ち下さい。</u> <u>観音霊水を汲んで帰られる方は、別にペットボトルやポリタンクをご用意下さい。</u> <u>朝夕と山は冷え込みますので、上着をお持ちください。</u> <u>なお、道路に不通箇所があったり危険だったり悪天候の場合には、臨機応変にコース変更や迂回をします。また山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。</u>	かぐらの湯 
		遠山郷の紅葉

10月28日(日)

時間	予定		写真
6:30		起床	
7:00	朝食	「いろりの宿 島畑」にて朝食	
7:45	出発	バスにて和田地区へ出発	
8:00	到着	和田地区の「殿町の茶屋」到着	
8:30	出発	国道152号線、兵越峠経由、静岡県水窪側、	
		「塩の道」入り口へバスで出発	殿町の茶屋(ふじ姫饅頭)
9:30	到着	バスから降りて遊歩道を歩いて青崩峠へ	
10:00	到着	青崩峠到着。写真撮影	
10:45	出発	青崩峠出発	
11:00	出発	「塩の道」入り口からバスで出発	観音霊水
11:30	到着	兵越峠到着。飯田市・浜松市代表選手による、	
		「峠の国盗り綱引き」観戦。昼食は弁当	
12:30	終了	バスで木沢地区の旧木沢小学校へ出発	
13:30	到着	旧木沢小学校に到着。校舎内見学	
14:00	講演	藤原直哉講演「激動の今年・来年の生き方」	
15:10	録音	インターネット放送公開録音	
15:30	終了		峠の国盗り綱引き
<u>15:45</u>	解散	<u>旧木沢小学校にて解散</u>	
		電車、お車でお越しの方は、道の駅「遠山郷」までお送りします。	
		乗合タクシーは同所のバス停かぐらの湯から	
		16:07発。平岡駅16:28着。	
		豊橋方面行特急は平岡を16:42発です。	
		<u>2日目に石畳の坂道を合計1時間弱ほど歩きます</u>	
		<u>ので、ハイキングができる運動靴などをお持ちください。</u>	青崩峠
		<u>みなさんにデジカメで写真を撮っていただきます</u>	
		<u>ので、どうぞデジカメと、撮った写真を保存するメモリーカードをお持ちください。</u>	
		<u>またメモリーカードは個人情報保護のために、今</u>	
		<u>までに撮影された写真を消したものをお持ちください。</u>	旧木沢小学校

< 3. 研修費用 >

大人 1名

道の駅「遠山郷」からご参加 30,000円

学生（大学生・専門学校生以下、中学生以上） 1名

道の駅「遠山郷」からご参加 15,000円

子供（小学生以下） 1名

道の駅「遠山郷」からご参加 5,000円

なお、お食事とお布団、バスの座席の事前のご用意が必要でない乳児は無料です

(1) 研修費用に含まれるもの

・ 宿泊料金	原則として相部屋です。ご家族での一部屋でのお泊りはできる限り配慮させていただきますが、保証はできませんのでご容赦ください。宿泊は、 いろいろの宿 島畑 〒399-1312 長野県飯田市南信濃八重河内580 TEL 0260-34-2286 FAX 0260-34-2281
・ 食事料金	日程表に記載された昼食2回、夕食および懇親会1回、朝食1回 (なお子供料金にてご参加の方は、1日目の夕食がお子様定食になります)
・ 入浴料 ・ 講演料 ・ 入館料 ・ 遠山郷内交通費 ・ 旅行保険料	日程表に記載されたかぐらの湯の入浴料、藤原直哉講演会の講演料、旧木沢小学校管理費、入館料、研修中の遠山郷内の交通費、下記旅行保険料
・ 研修講師	シンクタンク藤原事務所 藤原直哉
・ 旅行保険	(限度額お一人様死亡障害2千万円)

(2) 研修費用に含まれないもの

・ 個人的性質の費用	タバコ、洗濯、電報電話、お酒・ジュース等の飲み物、お土産、個人の飲食などは個人負担をお願いします
------------	--

< 4. 研修要領 >

募集人員	<p>21名（最小催行人数：10名） なお、先着順にお申し込みをお受けし、定員になり次第締め切ります。 参加申込書をシンクタンク藤原事務所宛てにお送りください（FAX または 郵送でお願いします）</p>											
研修代金	<p>2012年10月19日（金）までに、研修代金の全額を以下の口座へお振込み ください。 郵便局 記号：10250 番号：89520371 口座名義：有限会社藤原事務所 または ゆうちょ銀行（郵便局） 店名：〇二八（ゼロ二ハチ） 店番：028 預金種目：普通預金 口座番号：8952037 口座名義：有限会社藤原事務所</p>											
取消料	<p>お申し込み後、お客様の都合でお取り消しになる場合、当方の手続きを開始 または完了している場合は、次の取消料を申し受けます。</p> <table border="1" data-bbox="485 1021 1520 1319"> <tr> <td data-bbox="485 1021 1086 1149">出発日の前日より起算して1ヶ月前まで</td> <td data-bbox="1086 1021 1520 1149"> 大人1万円 学生5千円 子供2千5百円 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="485 1149 1086 1193">出発日の前日より起算して2週間前まで</td> <td data-bbox="1086 1149 1520 1193">参加費用の40%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="485 1193 1086 1238">出発日の前々日および前日</td> <td data-bbox="1086 1193 1520 1238">参加費用の50%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="485 1238 1086 1283">出発日の当日又は無連絡不参加の場合</td> <td data-bbox="1086 1238 1520 1283">参加費用の80%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="485 1283 1086 1319">研修開始後</td> <td data-bbox="1086 1283 1520 1319">参加費用の100%</td> </tr> </table>		出発日の前日より起算して1ヶ月前まで	大人1万円 学生5千円 子供2千5百円	出発日の前日より起算して2週間前まで	参加費用の40%	出発日の前々日および前日	参加費用の50%	出発日の当日又は無連絡不参加の場合	参加費用の80%	研修開始後	参加費用の100%
出発日の前日より起算して1ヶ月前まで	大人1万円 学生5千円 子供2千5百円											
出発日の前日より起算して2週間前まで	参加費用の40%											
出発日の前々日および前日	参加費用の50%											
出発日の当日又は無連絡不参加の場合	参加費用の80%											
研修開始後	参加費用の100%											
研修主催（お問い合わせ）	<p>シンクタンク藤原事務所 〒250-0011 神奈川県小田原市栄町2-13-12 ASUKAビル2F 電話 0465-44-4750 FAX 0465-44-4751</p> <p>電子メール higuchi@fujiwaraoffice.co.jp 担当 樋口敬子（ひぐち けいこ）</p> <p><u>なお、当日の緊急連絡は、藤原直哉の携帯電話へお願いします。090-3 046-6354</u></p>											

< 5. 研修概要 >

・ 研修名称	2012年10月 遠山藤原学校研修
・ 日時	2012年10月27日(土)・28日(日)の2日間
・ 研修場所	長野県飯田市南信濃地区
・ 集合・解散場所	集合：27日(土) 12:30 道の駅「遠山郷」内、アンバマイ館 解散：28日(日) 15:45 旧木沢小学校 <u>なお、当日の緊急連絡は、藤原直哉の携帯電話へお願いします。</u> <u>090-3046-6354</u>
・ 研修内容	各種見学、体験、講演など
・ 研修講師	シンクタンク藤原事務所 藤原直哉

< 6. 現地集合・解散場所まで/からの自家用車、電車での交通手段 (ご参考) >

(1) 自家用車でお越しの場合	<p>集合場所： 長野県飯田市南信濃和田 548-1 道の駅「遠山郷」内、 観光案内所「アンバマイ館」 (電話 0260-34-1071)</p> <p>中央高速道 飯田、松川インターチェンジから約1時間 中央高速道 飯田山本インターチェンジから約1時間 新東名高速道 浜北インターから兵越峠経由で約2時間</p>
(2) 電車でお越しの場合	<p>東京方面から (行き) 東京 8:33 ひかり505号 豊橋 9:58 豊橋 10:08 特急伊那路1号 平岡 11:57 下車後、かぐらの湯まで乗合タクシーで20分 お一人650円 (帰り) 旧木沢小学校からかぐらの湯まで車で10分、 かぐらの湯から平岡駅まで乗合タクシーで20分 平岡 16:42 特急伊那路4号 豊橋 18:31 豊橋 18:45 ひかり530号 東京 20:10</p>

< 8. 注意事項、および持ち物など >

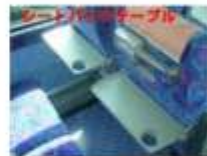
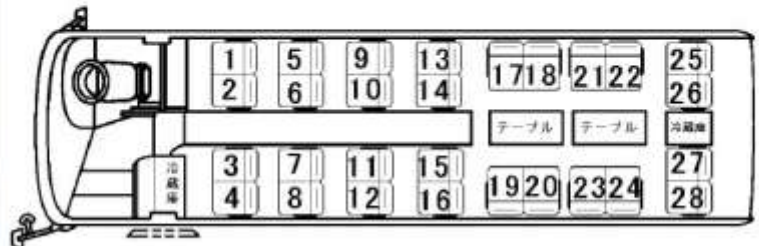
- ・ 2日目に石畳の坂道を合計1時間弱ほど歩きますので、ハイキングができる運動靴などをお持ちください。
- ・ デジカメで写真を撮っていただきますので、デジカメと、撮った写真を保存するメモリーカードをお持ちください。
- ・ またメモリーカードは個人情報保護のために、今までに撮影された写真を消したものをお持ちください。
- ・ 観音霊水を汲んで帰られる方は、ペットボトル、水筒またはポリタンをご用意下さい。
- ・ 里山口ハスグループにご参加の方は園作業をしますので、汚れてもよい作業着、軍手をお持ちください。長靴は当方で用意します。
- ・ 朝夕、山は冷え込むことがありますので、上着をお持ちください。
- ・ 道路に不通箇所があったり危険だったり悪天候の場合には臨機応変に迂回します。
- ・ 山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。
- ・ なお、携帯電話は、電波が届かない場所があります。

希望と心のふれあいの旅



便利・快適・安全を追求したスーパーサルーンバス Isuzu 465 28席

座席配置(サロン状態、座席を回転して前向きにも出来ます)



- 主な装備・仕様
- 足元ゆったりフットレスト付 28 席
 - 全シート可倒式アームレスト
 - シートバックテーブル・シートポケット
・コップ立て・灰皿
 - 8 席回転サロン (4 席のみでも使用可)
 - サロン席 2 分割テーブル
 - トレー式ルーフラック
 - 大型ボトルクーラー (前後 2ヶ所)
 - 大型貫通トランク
 - 大型冷凍冷蔵庫 (60Lトランク内)
 - 給湯ポット
 - 電動格納式カラー液晶TV (前部 20 型、サロン席 15 型)
 - TVチューナー ビデオ・CD・DVDデッキ
 - シンセサイザーカラオケ
 - 遠赤外線式ワイヤレスマイク
 - 障害物のないフロントワイドビュー
 - 乗り降りスムーズ フロントタイプ (120mm)



松川町から望む南アルプス(赤石山脈) (上段:南アルプスの山々、中段:前山の山々、下段:伊那山地の山々)

営業案内

貸切バス事業

一般貸切、各種送迎

小さなグループから団体旅行まで
旅のガイド付、地域観光案内

旅行事業

海外旅行、国内旅行

一度行って見たかった話題の観光地
ご希望に応じたコースの企画・見積と
手配・ご案内をさせていただきます



4列20人乗りサロン車



4列21人乗りサロン車

マツカワ観光バス株式会社

本社/営業所 TEL 0265-36-2345(代)
FAX 0265-36-6060

〒399-3304 長野県下伊那郡松川町大島1909-2
一般旅客運送業 北信交旅第813号
長野県知事登録旅行業 第3-442号
社団法人 全国旅行業協会正会員

申 込 書

2012年10月 遠山藤原学校 10月27・28日 ご記入日： 年 月 日
選択してください ・ 自家用車で現地ご参加 ・ 電車で現地ご参加

フリガナ			性別	男 ・ 女	
お名前			生年	明・大・昭・平 (西暦 年)	
			月日	年 月 日 (満 歳)	
弊社お客様番号 (おわかりになる場合)					
フリガナ			性別	男 ・ 女	
お名前	続柄			生年	明・大・昭・平 (西暦 年)
				月日	年 月 日 (満 歳)
フリガナ			性別	男 ・ 女	
お名前	続柄			生年	明・大・昭・平 (西暦 年)
				月日	年 月 日 (満 歳)
フリガナ			性別	男 ・ 女	
お名前	続柄			生年	明・大・昭・平 (西暦 年)
				月日	年 月 日 (満 歳)

■ ご連絡先について

ご自宅 会社・学校 ※どちらかにチェックをおつけください。

※ご連絡先が「会社・学校」の場合にご記入ください。

会社名 学校名等					
	部署：	役職：			
ご連絡先 住所	〒 _____				
TEL	() -	FAX	() -		
携帯電話					緊急時 連絡可・不可
電子メール	@				
喫煙の有 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				

※部屋割りの参考にさせていただきます。

選択してください

- 参加グループごとに人数をご記入ください。 学習グループ 大人 名 子供 名
(別れてご参加の方はそれぞれに人数をご記入ください) 里山ロハス体験グループ 大人 名 子供 名
- ベジタリアン料理をご希望の方、お申し付けください。 ベジタリアン料理を希望
- その他ご希望等ございましたらご記入ください。

シンクタンク藤原事務所 担当：樋口敬子

TEL : 0465-44-4750

E-Mail higuchi@fujiwaraoffice.co.jp

↑ FAX送信先： 0 4 6 5 — 4 4 — 4 7 5 1 ↑

切り取り